

提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午後】
部会名	小学校 国語部会

1 提案テーマ 「書く力を育てる授業の工夫 ～『すごろくシート』を活用して楽しく書く～」

2 単元(題材) 読んで、せつめいのしかたを考えよう
「しかけカードの作り方」「おもちゃの作り方」

3 学年 第2学年

4. 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ① 国語科における基礎的・基本的な知識及び技能の習得とこれらを活用して思考力、判断力、表現力等をはぐくむための年間指導計画、評価計画及び学習指導の工夫・改善
・相手や目的に応じて自分の考えを的確に書いたり、発表したりする指導の工夫・改善

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容 [第1学年及び第2学年] 2 内容 B 書くこと
(1) イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。
ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。

6 実践に向けての課題意識

日頃から「書く」という活動を意識して、国語の授業に取り組んでいる。物語文や説明文を読んで、自分の考えを書いたり、ワークシートを効果的に活用したりしている。発言することが難しい児童も、書いたことを発表することができ、学習意欲の向上につながっている。また国語以外の授業でも積極的に書く活動を取り入れ、日々の学級指導では日記を書く活動もしている。

「書く」ということのひとつには、それを読む「相手」がいるということがある。「おもちゃの作り方」の学習では、おもちゃの作り方の手順に沿って、絵を用いて、相手にわかりやすく説明する文章を書く。どのように書けば相手により伝わるか、目的意識と相手意識をもつことが大切である。そして、書けたという達成感と、相手に伝わったという喜びと自信が、次の活動にもつながると考えた。

7 実践の概要

「しかけカードの作り方」という手順を示す文章では、特に順序が大切である。作業の手順が示されている文章を読みながら、しかけカードを作っていく、書かれている内容を正確に理解しなければ、しかけカードは完成しない。

「しかけカードの作り方」を学んだ後は、おもちゃの作り方の説明書を書く。自分が作業したことを的確に表す言葉の選び方や、手順がよくわかる文の順序などを考えさせ、「何を」「どうする」という文型も意識させ、読んで理解した内容を書く学習に生かせるようにしたいと考えた。

そこで、説明書を書く前にグループで「すごろくシート」を作成した。おもちゃの作り方の手順と工夫を一つずつ短冊に書いて模造紙に貼っていく、スタートからゴールまでを仕上げるシートである。このシートをもとにして、最終的におもちゃの説明書を書き上げた。

8 成果と課題

「おもちゃづくりの説明書を書いて、作り方を友だちに教えよう」という目的意識と相手意識をもつことで、児童たちが意欲的に取り組んだ。説明文である「しかけカードの作り方」をしっかりと読んで、説明書を書くときに注意しなければならない点を意識し、「おもちゃの作り方」でそれを生かすことができた。

グループで「すごろくシート」を作ったことで、作り方の全容がつかめ、書くことが苦手な児童にとっても、後に自分で説明書を書くときに有効であった。

一方で、でき上がった説明書を、読む相手を意識して、よりわかりやすい文章に高めることが不十分であった。

9 予想される協議の柱

- ・「書くこと」の喜びと達成感を味わう指導の工夫について